

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

新しい時代の旅行業、「おもいやり」と「きずな」で人・風景・文化が共生するサステナブルな事業へ覚醒

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・ペアセールスや公共交通機関利用による営業車の二酸化炭素排出量の抑制 ・マイボトルの利用などにより支店内ペットボトル廃棄量の削減	・二酸化炭素排出量の抑制 2023年度:3.34トン →2026年度:2.84トン(2023年度比15%削減) ・ペットボトル廃棄量の削減 2023年度:3,276本(1人平均週4.2本) →2026年度2,293本(1人平均週2.94本)(2023年度比30%削減)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・サステナブルブランド国際会議の周知による県内参加生徒数、参加企業の拡大 ・TABLE FOR TWOのプログラム提供で世界の食の不均衡解消への取組	・県内参加生徒数、参加企業数 2023年度:1校4名、0社 →2026年度:3校12名、3社 ・プログラム提供者数 2023年度:0名 →2026年度:300名
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・JRセットプラン商品のお申込者をカーボンゼロプランへ誘導販売 ・有給休暇取得促進で家事、育児の負担平等	・カーボンゼロプラン誘導販売割合 2023年度:0% →2026年度:30% ・有給休暇取得率 2023年度:42.9% →2026年度:55%

<パートナーシップ>

自治体や地元企業・学校・地域住民などあらゆるパートナーと協働しながら、地域活性化・地方創生の実現に貢献。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。